

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	力根 一博	学校名	匝瑳市立椿海小学校
実施学年	小学4年	教科	社会科
单元名	地震からくらしを守る		

《学びを深めたいポイント》

防災グッズがなんのためにあるのか、何を優先して準備したほうがよいのかを考える活動を行う。防災グッズに優先順位をつける活動を行う際、思考ツール「ピラミッドチャート」を活用することで、自分だったら何を優先するのかを視覚的にも構造的にもわかりやすく説明できるようにしたい。さらに、グループワークによる児童間交流を通して、児童自身が自己の思考を整理しながら表現することで、友達にわかりやすく説明する力を高められるようにしたい。

また、視覚的・構造的に整理されたピラミッドチャートをグループ間で比べ合い、児童が大切だと考えた防災グッズの共通点を探す活動を行う。そのなかで、その防災グッズがなぜ必要なのか、何を優先して準備をした方がよいのか（命に関わるもの）という価値に迫っていけるようにしたい。

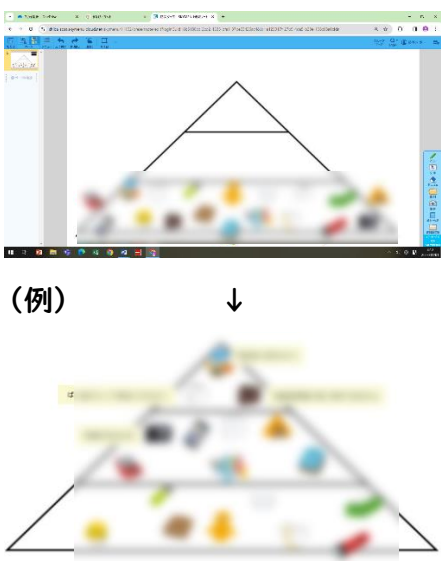
《SKYMENU 活用のポイント》

発表ノートに思考ツール「ピラミッドチャート」（上段・中段・下段）を背景化するとともに、17種類の防災グッズの画像を貼り付ける。防災グッズの画像を動かしながら、より大切なものを下段→中段→上段へと上げていく。同じ段の中でもより大切なものを上へ移動させることで視覚的に優先順位を理解できるようにする。発表ノートで防災グッズの画像を動かしながら操作できるワークシートにすることで、児童の活動時間を十分に確保できるようにする。

また、個人で考えた後は班ごとに別々のグループワークに参加する。今回は1人のスライドをコピーして、再度話し合いながら、班の意見として優先順位を決め直す活動を行う。その際、発表ノートにおける「グループワーク」は、自分の意見を友達に見せながら説明したり、自分の意見を確認しながら班の友達と話し合ったりする際に有効である。（比較検討場面の設定及び思考力・判断力・表現力の向上）

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	1 学習内容と本時の授業の流れを知り、本時のめあてをつかむ。 また、震災の被害にあった地域の写真を見てイメージをもつ。		
		絶対に必要な防災グッズはどれだろう。	

展 開	2 17種類の防災グッズに優先順位をつける。(個人で活動) 3 グループとして必要なものやさほど必要ではないものを話し合い、再度ピラミッドチャートにまとめ直す。 4 話し合った内容を発表する。 (例) ・〇〇のために_____は絶対に必要だと思います。 ・本当に必要な防災グッズは_____です。なぜなら_____だと思ったからです。	 (例) ↓	・選んだ防災グッズがなぜ大切な理由を説明しながら話し合うように確認する。 ・優先順位をつけるなかで、上段に上げた理由も発表できるように声かけをする。 ・タブレット端末を使用した発表では、発表後に児童の意見が視覚的に残らないという課題がある。そのため、発表後の意見を黒板に視覚的に残すようにすることで、まとめの際の振り返りに繋がられるようにする。
ま と め	5 まとめ・振り返り それぞれのグループの発表から、共通することはないか考える。 命に直接関わるものほど、必要な防災グッズである。		・それぞれのグループがどの防災グッズを大切と考えたか、またその理由も含めて共通点を探せるように声かけをする。 ・命を守るために、それぞれが何を大切と考えたのか確認する。

《実践を振り返って》

- ・文字を書いたり消したりすることがないので、活動する時間を多く確保できる。また、防災グッズの画像を動かしながら操作できるため、児童は思考を止めずに活動できる。
- ・グループワークになると他の児童の意見がタブレット画面の左側に出てくるので、自分と友達との意見の比較検討がしやすくなる。また、発表資料が手元にあるので話し合う際に自分の意見や立場の確認がしやすくなった。
- ・「食料」「水」「救急セット」「ヘルメット」等が上位に来るグループが多かった。理由を聞くと「直接命に関わるから」「安全のため」と答えた。(他の防災グッズを答えた際も理由は同様のものが多い。)そのため、「なんのために防災グッズを用意するのか」をふり返らせ、「命を守るため」「安全を確保するため」とまとめた。また、その児童の発言・発表から、自然と本時の価値である「防災グッズの大切さや必要性とその理由」に迫っていける。